

学校教育用れきはく動画コンテンツ「洛中洛外図屏風(歴博甲本)と京都の町並」教師用指導略案(歴博第2展示室)

目標 屏風やジオラマを観察することにより、室町時代の京都の様子をつかみ、絵画資料とジオラマの読み解きの楽しさを体験し、室町時代の文化や人々のくらしを理解する。

展開 ※設問、問題が出た後は、しばらく画面を止めて、児童生徒が考える時間を確保する。

ワークシートの設問は、その都度画面を止めるか、動画を一通り見た後で実施してもよい。

主な発問 (○) と予想される児童生徒の反応 (・)	指導上の留意点 (◇)
<p>○京都へ行ったことある人はいますか。知っていることはありますか。</p> <p>・一度だけある。 ・古い建物がある。</p> <p>○400～500年前くらいの京都の町並みを見ましょう。</p> <p>・道路がまっすぐ。・小川がある。・木造の建物。</p> <p>【動画の時間 1:08～】</p> <p>○ここから質問が出ます。答えはワークシートに書きましょう。</p> <p>〈右隻〉</p> <p>* 清水寺 * 祇園社(八坂神社)</p> <p>* (能の舞台)観世能 * (天皇の住まい)内裏</p> <p>* (春をあらわす)梅 * (夏をあらわす)およぐ人</p> <p>【動画の時間 3:57～】</p> <p>〈左隻〉</p> <p>* (鹿苑寺)金閣 * (将軍邸)室町幕府</p> <p>* (秋をあらわす)米の収穫</p> <p>* (冬をあらわす)雪景色</p> <p>【動画の時間 5:47～】</p> <p>○どんなお店があったのでしょうか。</p> <p>* 呉服屋 * 酒屋 * 筆屋 * 扇屋</p> <p>* 八百屋 * 武具屋 * 床屋</p> <p>【動画の時間 8:10～】</p> <p>○どんな人がくらしていたのでしょうか。</p> <p>* 公家 * 琵琶法師 * 黒木(木炭:燃料)を売る人</p> <p>* 僧侶 * 荷物を運ぶため</p> <p>【動画の時間 10:02～】</p> <p>○クイズに挑戦しましょう。</p> <p>* 麻 * 市女笠 * 水くみ * 鯉 * 人形使い</p> <p>【動画の時間 12:41～】</p> <p>○まとめましょう。</p> <p>・京都は当時、日本の首都であり、最大の都市で、様々な職業や身分の人がくらしていました。</p>	<p>◇京都のイメージを言わせてもよい。</p> <p>◇「洛中洛外図屏風」(歴博甲本)をもとに、室町時代の終わり頃の京都の様子をジオラマで表していることを紹介する。</p> <p>◇問題が出た後、しばらく画面を止めて、児童生徒が記入する時間を確保してもよい。以下の設問も同様に扱う。</p> <p>◇児童生徒にとって、京都はなじみが薄いと思われるので、教師が適時、アドバイスを与えてもよい。</p> <p>◇夏のものとして、祇園祭の様子が描かれている。それを紹介してもよい。</p> <p>◇現在と比べて、売られている商品が違うものが多いことや今と同じものがあることに気づかせる。</p> <p>◇様々な身分や職業の人がいたことを理解させる。</p> <p>◇5問のうち、何問できるか競わせてもよいが、その理由がしっかり言えるように指導する。</p> <p>◇職業や身分、寺社、祭りや行事など多くの情報が読み取れることを知らせ、もともなる「洛中洛外図屏風」に関心を持たせる。</p>